

秋田市教育委員会
令和4年2月定例会
(事前配付資料)

【資料目次】

付議案件

議案第1号 第6次秋田市社会教育中期計画の策定について	… 1
議案第2号 第3次秋田市子ども読書活動推進計画の策定について	… 5

教育長等の報告

(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果 について	… 9
(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について	…16

定例会資料：議案第1号
令和4年2月15日
生涯学習室

議案第1号

第6次秋田市社会教育中期計画を策定する件

第6次秋田市社会教育中期計画を別紙のとおり定める。

令和4年2月15日提出

秋田市教育委員会

教育長 佐藤 孝 哉

第6次秋田市社会教育中期計画の策定について

教育委員会11月定例会で原案を報告した第6次秋田市社会教育中期計画については、その後、パブリックコメントのほか、第4回策定委員会（最終）および社会教育委員の会議を実施し、成案を策定したところである。

1 パブリックコメントについて

(1) 実施期間

令和3年12月17日（金）～令和4年1月14日（金）

(2) 実施結果

ア 一般意見：4件（4名）

イ 市民100人会：4件（4名）

(3) 意見への対応

意見一覧（パブコメ）のとおり

2 第6次秋田市社会教育中期計画（原案）からの修正箇所

№	該当ページ	修正内容	備考
1	P13	図1について、【事業】と【事業の評価】を追記	社会教育委員の会議での意見
2	P13 P14～18 P20～24	【基本方策】を【施策】に修正	同上
3	P14～17	【事業】欄を「計画体系」の領域に含めるものとして、計画体系と評価体系の境目の線の位置を変更。また、計画体系と評価体系が対照となるよう両矢印で表記	同上
4	P15・17	【施策の方向】の評価を【事業】の評価と、【施策の方向】の評価に区分して表記し、※印の注釈をこれに合わせて修正	同上
5	P25～30	「資料編」として、社会教育施設等の紹介、第6次秋田市社会教育中期計画策定委員会設置要綱、策定経過および委員等名簿を追記	—

第6次秋田市社会教育中期計画（原案）に対して寄せられた意見一覧（パブコメ）

●第2章 現状と課題

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	6～11	現計画（第5次）で施策の展開（P15～P17）及び取組を評価する指標（例示）（P19）が記載されているが、これらに対する計画期間中の具体的な現状（数値など）、評価、課題が記載されていないため、原案（第6次）で記載されている「第5次計画の評価と課題」及び「世代別施策の現状と課題」が適切かどうか分からない。原案（第6次）では、計画期間中の具体的な実績に基づいて評価されるようになってきているので、今後の施策の展開と適正な評価、そして社会教育の充実に期待しています。	現計画期間中は、毎年度社会教育事業の点検評価を行い、具体的に現状と課題を把握し、次年度における取組の改善に努めております。本計画では、評価体系に基づき毎年度評価し、社会教育の充実に努めてまいります。
2	8	乳幼児教育 コミュニティに入っていきのが、おっくうでない人は、情報を自らひろって、外に向かうと思う。受け身の方の方が多いと思うので、小さな学びからステップアップしていけるような段階をふめるように計画する必要があるのではないのでしょうか。	いただいたご意見のとおり、子育てに関する情報提供や、気軽に参加できる学習環境の充実に引き続き努めてまいります。

●第3章 目標、基本方針、計画体系および評価体系

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	14	学習機会の充実のため、市民自らが学んだことを更に深めるまたは社会に還元するための施策を充実させる具体的なものがあれば良いと思う。例えば、県で言うところの「出前講座」のようなものの一覧や市民講師の一覧などを作成し、公開するなどの事業。 すでにあるのかもしれないが、市民には知られていない。	学習者が講師やボランティアとして活動するなど、学習成果を社会へ還元できる取組に努めております。また、「生涯学習講師団名簿」への登録を推奨し、ホームページで公開しております。引き続き、学習を希望する方へ必要な情報が届き、学習活動につながるよう、SNSを活用するなど、様々な媒体を通じて情報提供に努めてまいります。
2	14	ライフステージに応じた学習機会の充実と情報発信はセットで効果を発揮するものです。能動的に情報をキャッチするのは難しいので、出来れば幼稚園、保育園、学校から情報を流していただければ必ず一読するはずですが、ただ、教育現場にいる教諭等にしてみれば業務が増え忘れがちになる現状があると推察されますので、こうした課題を乗り越えていただくと充実したものになると思います。	学習情報を提供する取組として、参考とさせていただきます。

●計画全般について

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	—	<p>私は、これまでの教育として、学校、家庭及び地域の教育力により、子供たちへの教育は支えられてきた考える一人ではありますが、その3つの教育のバランスが崩れているのが今の教育現場での困難さを招いていると思います。</p> <p>多くの子供の親たちは、家庭教育で行われているはずの基本的な生活習慣や躾を学校に押し付ける風潮が顕在化し、これまで地域にいたはずの頑固おやじや怖いオジサンも姿を消し（下手に口を出すと「うちの子に何をやるんですか」と逆怒りされるため。又はタクシーの順番待ちで注意するとナイフで刺される。）、すべての教育を学校に任せきりして、親たちは、PTAの役員就任にも協力しない状況が、現在の教育の現状だと思います。</p> <p>まずは、これまでの3つの教育の力を、どこで何を担っていくのかを整理して、それを実行するための具体的な手法を、学校、家庭及び地域で考え直し、具現化していく作業が必要と考えます。</p> <p>また、親たちによるPTAの存続が困難になっているのであれば、PTAがこれまでになってきた具体的な作業を、公費による嘱託職員の採用により、教員への負担軽減を図っていくことも必要と考えております。</p>	<p>学校・家庭・地域の連携を強化し、教育力の向上に努めてまいります。PTA活動については、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	—	<p>教育こそ、秋田県、秋田市最大の強みであり課題です。当面の目標は「大学進学」ではないでしょうか？</p> <p>全国学力テストでは小・中生は優秀ですが、大学入学では35番前後です。</p> <p>中高一貫校も少なく、部活ばかり・・・</p> <p>そんな状況では教育がよくなるはずがありません。</p> <p>現実を分析した計画にしてほしいです。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
3	—	<p>少子化が進む中で、子供に手をかけ過ぎるために個性ある自立心が失われる怖さがある。</p> <p>環境を整えている、何かを提供しているという与える側の独りよがりにならないように学ぶ側が本来の意味で実感出来るような工夫が大切である。</p> <p>この事は、どの年齢層においても基本的に共通している部分であると思う。</p> <p>一方、現代社会において怖いのは、デジタルとかITが先行されるために、人間の五感が退化していくことが懸念される。</p> <p>人間本来の機能が備わっているからこそ健康で生き生きと永らえるので、社会教育の基本に常に据えられることが最も大切であると考えます。</p>	<p>各種講座や学級等の参加者に対し満足度調査を実施し、受講者の満足度を高めるよう、事業内容の改善と充実に努めております。</p> <p>また、ICTなどの活用により、新しい学びとこれまでの対面による学びを効果的に組み合わせることが可能となり、多様な交流や人と人とのつながりが広がることで、社会教育の推進が一層図られるよう努めてまいります。</p>
4	—	<p>全部読ませていただきました。よくまとめられていると思います。</p>	<p>案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>

※寄せられた意見一覧に対する原案の修正はなし。

定例会資料：議案第2号
令和4年2月15日
生涯学習室

議案第2号

第3次秋田市子ども読書活動推進計画を策定する件

第3次秋田市子ども読書活動推進計画を別紙のとおり定める。

令和4年2月15日提出

秋田市教育委員会

教育長 佐藤 孝 哉

第3次秋田市子ども読書活動推進計画の策定について

教育委員会11月定例会で原案を報告した第3次秋田市子ども読書活動推進計画については、その後、パブリックコメントのほか、第4回策定委員会（最終）および社会教育委員の会議を実施し、成案を策定したところである。

1 パブリックコメントについて

(1) 実施期間

令和3年12月17日（金）～令和4年1月14日（金）

(2) 実施結果

ア 一般意見：1件（1名）

イ 市民100人会：5件（5名）

(3) 意見への対応

意見一覧（パブコメ）のとおり

2 第3次秋田市子ども読書活動推進計画（原案）からの修正箇所

№	該当ページ	修正内容	備考
1	P2 目次、P6、P9、 P13、P17	本計画における学校の対象範囲を注釈で明記 これに伴い、高等学校を高等学校等に修正	策定委員会での意見
2	P18	図示について発達の段階における共通の取組をまとめた形で修正	社会教育委員の会議での意見
3	P19	「PDCAサイクル」についての説明を追記	同上
4	P20～25	「資料」として、子どもの読書活動の推進に関する法律、第3次秋田市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱、および策定経過を追記	—

第3次秋田市子ども読書活動推進計画（原案）に対して寄せられた意見一覧（パブコメ）

●第IV章 子どもの読書活動推進のための取組

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	10	先日、図書館に久しぶりに行ったところ読書の記録帳が導入されており、良い取組と感心しました。	読書の記録帳事業は、子ども自身が本に親しみを持つきっかけにもなり、読書習慣の定着を効果的に支援しうる取組として実施しております。今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。
2	10～17 (3～4)	「ブックスタート推進事業」、「親子の絵本プラン」及び「かぞくぶっくぱっく事業」は、大変意義のある事業だと思います。（まさか読み聞かせに、CDは使っていませんよね。） しかし、その後に続く読書の対象として、解説入りでもかまわないので、国内外の文豪の作品を気軽に読める環境を創り、子供たちが簡単に触れることができるようにしてあげることも大事だ、と思います。そのためにも、対象となる文豪たちのバックグラウンドを指導する司書や教員がよく理解したうえで、彼らが何を訴えたいのかを解説し、子供たちが数多くの作品の中から、感銘を受ける本を探し当てる楽しさを感じれる環境を創っていただきたい。	いただいたご意見については、読書に親しむ機会を充実する取組を推進する上での参考とさせていただきます。
3	10～11	保護者への啓発は大切だと思う。親子での読書を今後も進めていけるよう、保護者側が興味関心を持っているジャンルやリクエスト等も寄せてもらい、双方向での情報提供ができると良いと思う。また、市外、県外からの転居者（家族）への積極的な働きかけをし、利用を促すと同時に、これまでと比べてどうか（地域・学校の読書環境について）という意見を寄せてもらっても良いと思う。	保護者への啓発と情報提供については、PTA等団体と連携を図り取り組むこととしております。また、市外、県外からの転居者の意見を寄せてもらうことについては、今後の読書環境の充実を図る上での参考とさせていただきます。
4	13	特別支援学校（秋大附以外は県立ですが・・・）は対象ではないのでしょうか？ こういった「教育」がらみのものは、メディアの報道にしても「小・中・高」だけ。休校さえ対象学校はニュースの中で言及されないことが多いですよね。（最近はその限りではないですが・・・）支援学校教員としては、対象ならばきちんとそう書いてほしいです。	特別な配慮を必要とする子どもへの読書活動については、図書館の取組の中で支援することとしております。 本計画は、秋田市立小・中・高等学校を対象としており、特別支援学校への取組については、県の第3次読書活動推進基本計画の中で行っているところです。

●計画全般について

No.	該当ページ	意見	意見に対する市の考え
1	—	<p>子ども読書活動はとても良い事とわかっていても、なかなか借りに行ったり、手に取ったりする時間や手間がない（面倒）と言いがちだと思います。仕事をしているとなおさら。</p> <p>本が身近なところであれば、あたり前のように感じるはずですが。図書館だけでなく、もっと、敷居の低い本屋的な施設を増やしたり、静かにすることが窮屈にならないような、場所づくりや駐車場問題を解決すると、良いのではないのでしょうか。</p> <p>図書館に行った際、駐車場がなかなか空かなくて、あきらめたことがありました。保育園でも借してくれるといいですが古くなったら補助金で買い足しできる等、策がないと、園側もこまりますね・・・</p>	<p>図書館は、たくさんの本と出会える場であり、あらゆる年代の方が利用しております。近隣に図書館がない地域には、移動図書館車が店舗や児童館など市内各地へ赴き、本の貸出しを行っているほか、子ども未来センターや市民サービスセンターの子育て交流ひろば等、地域の身近な施設でも本と親しむことができる機会の充実に取り組んでおります。</p> <p>保育園等においては、読み聞かせを行うほか、園の本を貸出し、家庭でも様々な本やおはなしとふれあうことができるよう、読書活動の充実に努めております。</p>
2	—	<p>「図書館があるから活用させたい」という目的の推進計画であるように感じます。読書は大切で、学力の基礎となり、人生においても重要です。</p> <p>しかし、読書は「楽しみ」であり、「習慣」でなくてはなりません。</p> <p>他人によるものでは、一過性のものにすぎず、ノルマでしかありません。幼少期より、各家庭において取り組むべきものだと思います。親が読書をしている姿を見せることが一番大切です。家族を巻き込んだ計画が望ましいと思います。</p> <p>また、中・高生は読書以前に、やりたいことが山積みしています。</p> <p>学校も、読書の前に、がんばってほしい事がたくさんあります。</p> <p>「図書館の活用」から、計画を考えるのではなく、抜本的な所から、考えていく必要があるのではないのでしょうか？</p>	<p>子どもの読書活動を推進するためには、家庭・地域、保育所等、学校、図書館が連携しながら、子どもの発達段階に応じた取組を行い、読書習慣が形成されるよう努めることが重要と認識しております。</p>

※寄せられた意見一覧に対する原案の修正はなし。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

1 調査の目的

本調査は、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として実施しているものです。

本市では、調査結果を活用し、子どもたちの体力や運動習慣等の状況を把握するとともに、一人ひとりの体力の向上や健康に関する指導の改善のために役立てたいと考えています。

2 調査対象

小学校5年生2,183名、中学校2年生2,098名

3 調査内容

<実技に関する調査>

- [小学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤20mシャトルラン（全身持久力）
 - ⑥50m走（瞬発力・疾走能力）
 - ⑦立ち幅とび（瞬発力・筋パワー・跳躍能力）
 - ⑧ソフトボール投げ（巧緻性・投球能力）

- [中学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤持久走（全身持久力 / 男子1,500m、女子1,000m）
 - ⑥20mシャトルラン（全身持久力）
 - ⑦50m走（瞬発力・疾走能力）
 - ⑧立ち幅とび（瞬発力・筋パワー・跳躍能力）
 - ⑨ハンドボール投げ（巧緻性・投球能力）

※⑤か⑥のどちらかを選択して実施

<質問紙調査>

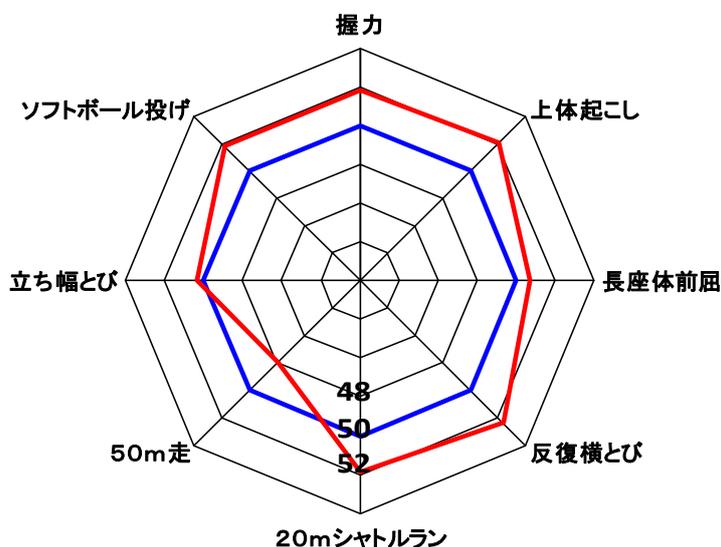
運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査

4 本市調査結果の概要

<実技に関する調査結果>

○小学校 男子

— 全国 — 秋田市



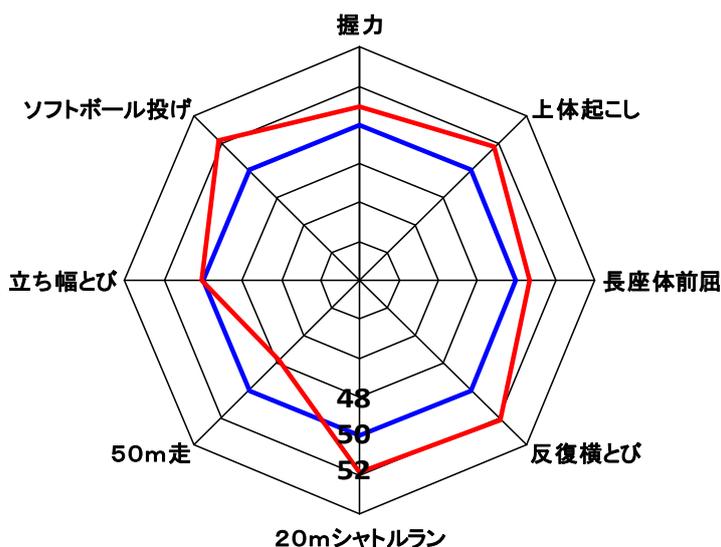
小学校男子では、8種目中7種目が全国平均を上回っています。

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げは全国平均を上回っています。

50m走は全国平均を下回っています。

○小学校 女子

— 全国 — 秋田市



小学校女子では、8種目中7種目が全国平均を上回っています。

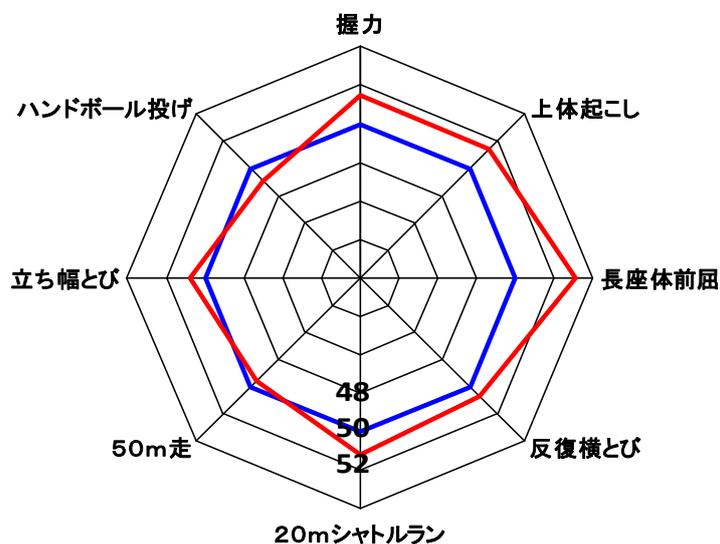
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げは全国平均を上回っています。

50m走は全国平均を下回っています。

※レーダーチャートは、全国の種目別平均値を50と換算して、全国平均値に対する本市の種目別平均値を相対的位置（T得点）として示したものです。

○中学校 男子

— 全国 — 秋田市



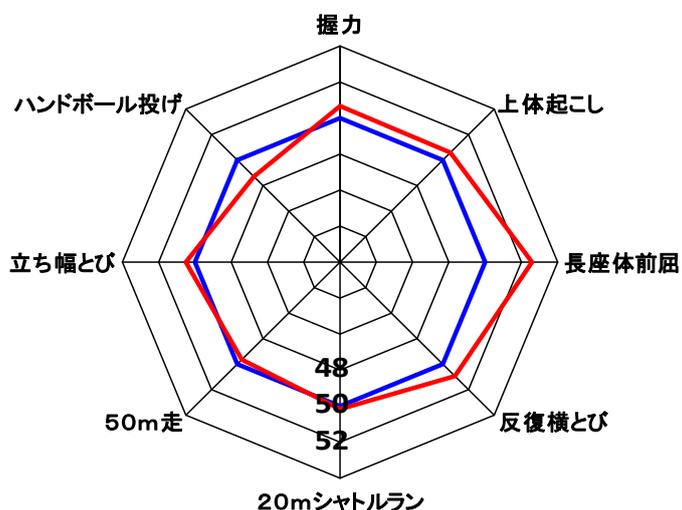
中学校男子では、8種目中6種目が全国平均を上回っています。

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とびは全国平均を上回っています。

50m走、ハンドボール投げは全国平均を下回っています。

○中学校 女子

— 全国 — 秋田市



中学校女子では、8種目中6種目が全国平均を上回っています。

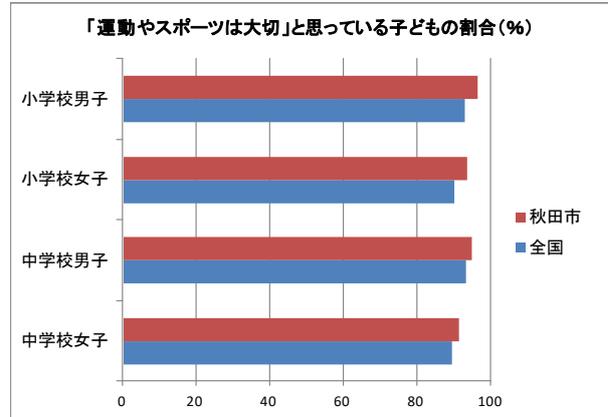
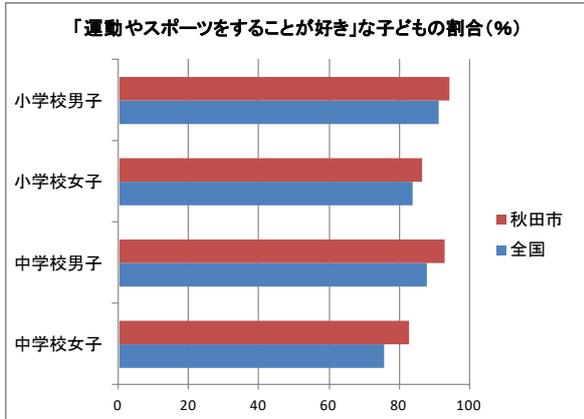
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とびは全国平均を上回っています。

50m走、ハンドボール投げは全国平均を下回っています。

※レーダーチャートは、全国の種目別平均値を50と換算して、全国平均値に対する本市の種目別平均値を相対的位置（T得点）として示したものです。

<質問紙調査結果>

○運動・スポーツに関する意識について



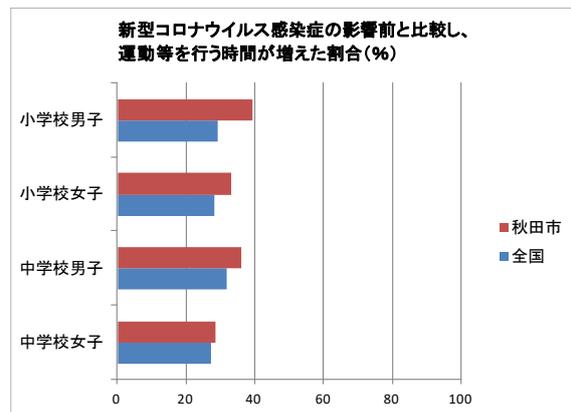
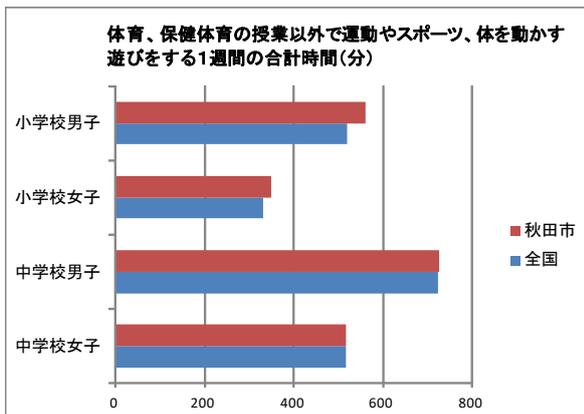
「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答した割合は、小学校男子、中学校男子では90%、小学校女子、中学校女子では80%以上で、いずれも全国平均を上回っています。

特に、中学校女子は、全国平均を7.2ポイント上回っています。

「運動やスポーツは大切・やや大切」と回答した割合は、小学校男女、中学校男女ともに90%以上で、いずれも全国平均を上回っています。

特に、小学校男女は、全国平均を3ポイント以上上回っています。

○運動習慣について



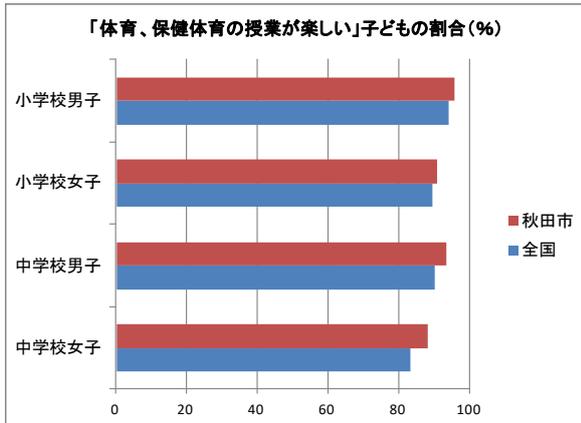
「体育、保健体育の授業以外で運動やスポーツ、体を動かす遊びをする1週間の合計時間」については、小学校男女、中学校男女ともに全国平均を上回っています。

特に、小学校男子は、全国平均を42分上回っています。

「新型コロナウイルス感染症の影響前と比較し、運動やスポーツを行う時間が増えた」と回答した割合は、小学校男女、中学校男女ともに全国平均を上回っています。

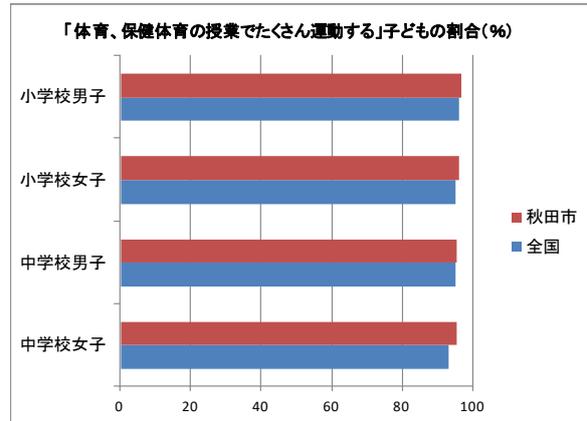
特に、小学校男子は、全国平均を10.0ポイント上回っています。

○体育、保健体育の授業について



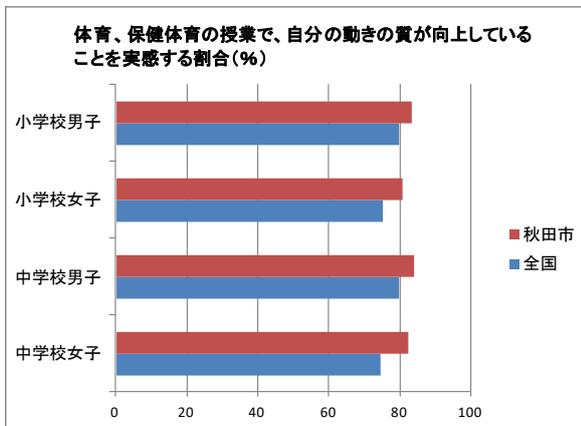
「体育、保健体育の授業が楽しい・やや楽しい」と回答した割合は、小学校男女、中学校男女ともに85%以上で、いずれも全国平均を上回っています。

特に、中学校女子は、全国平均を5.0ポイント上回っています。



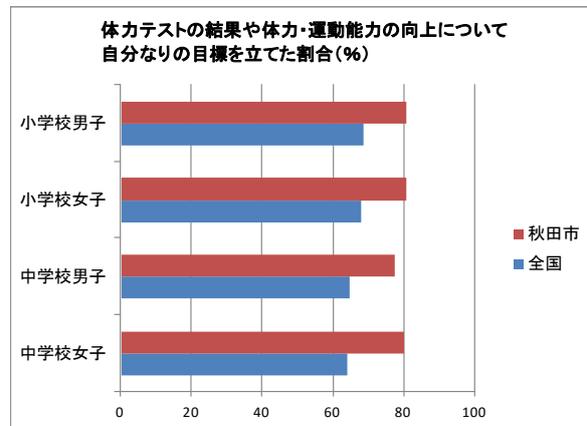
「体育、保健体育の授業でたくさん運動する」と回答した割合は、小学校男女、中学校男女ともに95%以上で、いずれも全国平均を上回っています。

特に、中学校女子は、全国平均を2.0ポイント上回っています。



「体育、保健体育の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感する」と回答した割合は、小学校男女、中学校男女ともに80%以上で、いずれも全国平均を上回っています。

特に、中学校女子は、全国平均を7.8ポイント上回っています。



「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てた」と回答した割合は、小学校男女、中学校男女ともに75%以上で、いずれも全国平均を10ポイント以上上回っています。

特に、中学校女子は、全国平均を15.9ポイント上回っています。

5 分析

(1) 小学校

- ・体力合計点[※]は、男女ともに全国平均を上回っています。
- ・男子の筋力（握力）は、前回の調査を上回っており、各校において、鉄棒や肋木を活用し、自分の体を支えたり、持ち上げたりする運動等に、体育の授業や業間運動を通して取り組んできた成果が表れていると考えられます。
- ・疾走能力（50m走）は、男女ともに全国平均を下回っており、課題となっています。
- ・質問紙調査では、「運動やスポーツは大切だ」と肯定的な回答をした割合は、男女ともに全国平均を3ポイント以上上回っており、運動やスポーツに関する意識が高いことがうかがえます。

(2) 中学校

- ・体力合計点は、男女ともに全国平均を上回っています。
- ・男女ともに柔軟性（長座体前屈）は、前回の調査を上回っており、準備運動や整理運動でストレッチ等に継続して取り組んできた成果が表れていると考えられます。
- ・女子は、全国平均を上回った種目が前回の調査よりも4種目増え、8種目中6種目となり、向上しています。
- ・疾走能力（50m走）と投球能力（ハンドボール投げ）は、男女ともに全国平均を下回っており、課題となっています。
- ・質問紙調査では、「運動やスポーツをすることが好き」「保健体育の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感する」と肯定的な回答をした割合は、男女ともに全国平均を上回っています。特に、女子は、全国平均を7ポイント以上上回っており、運動やスポーツに主体的に取り組む意欲が、体力の向上につながっていることがうかがえます。

(参考) 体力合計点

	秋田市	全 国
小学校 男子	54.0	52.5
小学校 女子	55.8	54.6
中学校 男子	43.1	41.1
中学校 女子	49.2	48.5

※ 体力合計点…8種目の実技テスト結果を合計した得点。それぞれ1点から10点の8種目を合計するために、体力合計点は8点から80点の範囲に分布する。

6 今後の取組

<学校教育における取組>

(1) 実技に関する調査の結果を踏まえて

①小学校

- ・各校の実情に応じて、業間運動を推進したり、外遊びを推奨したりするなど、子どもが遊びを通して運動に親しむ機会の充実に努めます。
- ・課題となっている疾走能力の向上のために、ICT機器を活用し、腕の振り方や足の振り上げ方などを中心に走行姿勢を確認させたり、加速走やミニハードル等を用いた基礎トレーニングを取り入れたりするなど、指導の工夫を図ります。

②中学校

- ・子どもが主体となる体育的行事を工夫し、進んで運動やスポーツに取り組むことができるよう努めます。
- ・課題となっている、疾走能力の向上のために、合図に対して素早く反応し、最後まで全力で走りきる意識付けを図ります。投球能力の向上のために、球技種目の準備運動時に肩周辺の関節の可動域を広げる動きや、キャッチボールなどを意図的に取り入れ、投球動作に慣れる機会の充実に努めます。また、子どもが投球フォームを確認し合うことができるよう、ICT機器を活用した指導の工夫に努めます。
- ・授業の開始時にサーキットトレーニングや補強運動、ランニングを取り入れたり、運動の苦手な子どもも活躍できるようなルールでミニゲームを行ったりするなど、十分な運動量の確保と体力の向上に努めます。

(2) 質問紙調査の結果を踏まえて

「体育、保健体育の授業が楽しい」「体育、保健体育の授業でたくさん運動する」と回答した子どもは、小中ともに85%を超えています。また、「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている」と回答した子どもは、小中ともに75%を超え、全国平均を10ポイント以上上回っています。

今後も、運動への意欲が高まる授業を工夫しながら、一人ひとりの運動時間を確保するとともに、個々の目標を明確に持たせながら授業に取り組ませることを重視し、指導の充実に努めます。

<家庭・地域との連携した取組>

「運動を行うことが大切だ」と回答した子どもは、小中ともに90%以上でした。また、「新型コロナウイルス感染症の影響の前と比較し、運動やスポーツに取り組む時間が増加した」と回答した子どもは、全国平均を上回っている傾向にあります。

今後も、子どもが日常的に運動する習慣を身に付けることができるよう、本調査の結果を家庭と共有し、家族から運動やスポーツを積極的に行うことを働きかけてもらったり、家庭でできる運動を推奨したりします。また、生活習慣の基本である「運動」「食事」「睡眠」のバランスがとれた生活習慣を身に付けることができるよう、家庭との連携に努めます。

学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域ブロック協議会において、学校統合の方向性（学校の組合せ）が決定した地域については、学校統合検討委員会で統合の可否を検討している。

また、検討委員会において、学校統合の合意が得られたところについては、学校統合準備委員会で、統合の実施に向けた具体的な準備作業を行っている。

1 学校統合検討委員会の開催状況等

(1) 第3回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会【2月1日(火)→3月以降に延期】

(2) 第3回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【2月8日(火)開催】

ア 主な意見等

- ・どちらの校舎を使用するにしても、余裕をもって適正な規模となる令和15年度を統合の目途としたい。
- ・統合時期の目途は、生徒数の推移により変動することから、年1回の協議を継続する必要がある。
- ・生徒数の推移のほか、部活動の状況や保護者の意向を踏まえながら、統合時期の目途を探っていきたい。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・統合時期の目途を令和15年度とし、今後の生徒数の推移を見ながら、年1回の協議を継続する。

2 学校統合準備委員会の開催状況等

(1) 第1回広面小、太平小、下北手小学校統合準備委員会【1月27日(木)開催】

ア 主な確認事項

- ・統合後の校名は、広面小学校とする。
- ・校章、校歌については、現在の広面小学校のものを変更することなく使用する。
- ・今回の検討事項を各所属団体で情報共有するとともに、次回以降、体育着等の指定物品や廃校舎の利活用などの具体的な検討を行う。

(2) 第4回太平中、下北手中、城東中学校統合準備委員会【2月3日(木)開催】

ア 主な確認事項

- ・各地域の伝統文化については、地域が中心となり、学校と連携しながら、継承のあり方を検討する。
- ・交流事業については、今後も学校間で調整しながら進める。

3 今後のスケジュール

(1) 学校統合検討委員会

開催日	学校統合検討委員会	地域
3月以降	第6回飯島小、下新城小、金足西小学校統合検討委員会	北部
	第6回土崎小、土崎南小学校統合検討委員会	北部
	第3回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会	北部
4月以降	第2回築山小、中通小学校統合検討委員会	中央
	第3回旭北小、旭南小学校統合検討委員会	中央
	第5回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会	西部
	第4回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会	北部

(2) 学校統合準備委員会

開催日	学校統合準備委員会	地域
2月25日(金)	第6回上新城小、飯島南小学校統合準備委員会	北部
4月以降	第2回広面小、太平小、下北手小学校統合準備委員会	東部
	第5回太平中、下北手中、城東中学校統合準備委員会	東部
	第6回秋田西中、豊岩中、下浜中学校統合準備委員会	西部

(3) 閉校記念式典

開催日	名称	会場
3月11日(金)	秋田市立上新城小学校閉校記念式典	上新城小体育館

※上記地域協議については、進捗状況により、順次、開催する。